

大子

だいが

目次

第1回臨時会・議員の紹介	2～3
第1回定例会・審議された議案	4～9
一般質問目次	10
一般質問	11～19
わくわくわたしの夢	20

議会だより



新体制でスタート 令和2年第1回臨時会

改選後の初議会開く

大子町議会議員選挙が3月15日に行われ、13人の議員が決まりました。

4月10日に第1回臨時会が開かれ、議長、副議長選挙や議会運営委員会、各常任委員会の選任等が行われ、議長に齋藤忠一議員、副議長に金澤真人議員が選出されました。

議員の任期は令和2年3月31日から令和6年3月30日までの4年間です。

また、町長から15件の議案が提出され、補正予算の専決処分等について、原案どおり承認・可決されました。

【第37代議長就任あいさつ】

齋藤 忠一 議長
さいとう ちゅういち



【10】
(63歳)

- ①大生瀬 ②4
③無所属
④総務経済委員会

この度の改選によりまして、第37代議長に就任いたしました。

私は、議会の代表として主体性を持ち、責任ある議会運営を図ってまいります。更には、町民の皆様身近な議会、信頼される議会になるよう努力してまいります。それにはまず、議会の情報をしっかりと発信させ、町民の皆様のご意見やご要望を真摯に受け止め、町政に反映させる事ではないかと思えます。また、町政につきましては、対等な立場として行財政や事務事業に対し、適正かつ効率的に行われているか監視する役割を果たしてまいります。

今後、町が抱える様々な諸問題、特に少子化、高齢化、過疎化、更には昨年の台風災害や、現在、危惧されております感染症対策に、町と議会が一体となり、町民の皆様の安心、安全な生活を守るべく対応をしっかりと進めてまいりますので、宜しくお願いいたします。

【第33代副議長就任あいさつ】

金澤 真人 副議長
かねさわ まさと



【9】
(67歳)

- ①町付 ②4
③無所属
④総務経済委員会

この度の議会正副議長改選におきまして、副議長に就任いたしました。

今、大子町は昨年の台風による甚大な洪水の被害、まだ収まる気配のない世界的な新型コロナウイルス流行の脅威、年々進んでいる過疎化など、いまだかつてない困難に直面しています。

そのような状況の中で議会と町執行部は文字通り車の両輪として困難に立ち向かわなければなりません。そのためには議会は研鑽に励み、主体性と存在意義を高めて執行部との議論を深め、その上で町民に開かれた議会になるよう努力して町民の皆さんと共に町の活性化を図っていかねばなりません。

議長と協力し合い、様々な問題に対処できる議会になれるように努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

町政を担う 議員紹介 任期4年 令和2年3月31日から令和6年3月30日まで

プロフィール

【議席番号】氏名(年齢)

- ①住所(大字)・②当選回数・
③党派・④所属委員会等



【1】飯村 剛
(51歳)

- ①中郷 ②1
③自由民主党
④総務経済委員会
副委員長



【2】川井 正人
(55歳)

- ①頃藤 ②1
③自由民主党
④文教厚生委員会
副委員長



【3】福田 祥江
(46歳)

- ①大子 ②1
③無所属
④文教厚生委員会
予算・決算委員会副委員長



【4】菊池 富也
(66歳)

- ①北田気 ②2
③無所属
④文教厚生委員会委員長
議会運営委員会



【5】須藤 明
(62歳)

- ①下金沢 ②2
③無所属
④文教厚生委員会

第1回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
選挙第1号	大子町議会議長の選挙について	当選 齋藤忠一議員
決定第1号	議席の指定について	
選挙第2号	大子町議会副議長の選挙について	当選 金澤真人議員
	常任委員会委員の選任について	
	議会運営委員会委員の選任について	
選挙第3号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	当選 齋藤忠一議員
選挙第4号	茨城北農業共済事務組合議会議員の選挙について	当選 中郡一彦議員 野内健一議員
議案第37号	令和元年台風第19号による災害被害者に対する町税等の減免に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第38号	大子町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第39号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第40号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第41号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第42号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第6号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第43号	令和元年度大子町水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第44号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第45号	令和元年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第46号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第47号	令和元年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第48号	大子町斎場条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	大子町営宿泊施設福寿荘の指定管理者の指定について	原案可決
議案第50号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第51号	大子町監査委員の選任について	原案同意



【13】野内 健一
(63歳)

①下津原 ②5
③公明党
④文教厚生委員会
議会運営委員会
予算・決算委員会委員長



【12】藤田 稔
(64歳)

①袋田 ②4
③無所属
④総務経済委員会



【11】鈴木 陸郎
(73歳)

①中郷 ②4
③無所属
④文教厚生委員会
町監査委員



【8】大森 勝夫
(52歳)

①頃藤 ②4
③自由民主党
④総務経済委員会
議会運営委員会副委員長



【7】中郡 一彦
(68歳)

①大沢 ②3
③無所属
④総務経済委員会委員長
議会運営委員会



【6】菊池 靖一
(66歳)

①冥賀 ②3
③無所属
④総務経済委員会
議会運営委員会委員長

令和2年第1回定例会

令和2年度一般会計当初予算

101億6,000万円

(前年当初比3.2%増)

令和2年第1回定例会が、2月12日から2月21日までの10日間の会期で開催され、令和2年度一般会計予算、特別会計予算、人事案件、令和元年度各会計補正予算等、町長提出議案等36件、議員提出議案1件が審議され、原案どおり可決・同意がされました。

一般質問には、9人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

令和2年度 各会計予算

会 計 別	予 算 額	前年度比較 (△減)
一般会計	101 億 6,000 万円	3 億 1,909 万円
国民健康保険事業特別会計	22 億 5,366 万 7 千円	△ 2,817 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 7,242 万 1 千円	1,077 万 5 千円
介護保険特別会計	26 億 4,317 万 8 千円	1,071 万 5 千円
介護サービス事業特別会計	983 万 8 千円	△ 223 万 1 千円
浄化槽整備事業特別会計	1 億 2,178 万 7 千円	462 万 6 千円
水道事業会計	7 億 7,579 万 2 千円	820 万 8 千円
総 額	162 億 3,668 万 3 千円	3 億 4,154 万 8 千円

令和2年度主な事業

■誰もが安心・安全を実感できるまちづくりを推進する

○排水ポンプ車配備事業【新規】	619 万 6 千円
○町外搬出し尿汚泥等運搬及び処理業務委託料【新規】	1 億 3,340 万 7 千円
○仮設住宅運営事業【新規】	554 万 4 千円
○中心市街地排水処理対策事業全体計画策定業務委託【新規】	671 万 4 千円
○避難勧告等の発令対象区域設定業務委託【新規】	366 万 8 千円
○（仮称）袋田防災センター新築工事実施設計業務委託【新規】	300 万円
○被災者支援無料送迎バス運行業務委託【新規】	347 万 8 千円
○A I 乗合タクシー実証実験事業【新規】	711 万円
○災害対策融資債務者保証料及び利子補給金【新規】	1,491 万円
○住宅リフォーム助成事業【拡充】	8,100 万円

■次世代を担う若い世代への投資を強化する

○ブリティッシュヒルズ語学研修事業【新規】	333 万 3 千円
-----------------------	------------

○東京2020オリンピック競技大会事業【新規】	3,700万8千円
○大子町営研修センター管理事業【新規】	3,349万8千円
○不妊治療助成事業【拡充】	240万円

■地場産業の未来を応援し足腰の強い大子町を創造する

○森林環境譲与税活用事業【新規】	
林業従事者就業環境改善事業	1,990万円
高性能林業機械等修繕費支援事業	1,200万円
森林所有者意向調査業務委託	312万1千円
○企業誘致推進事業【拡充】	720万7千円

■民間企業等との連携により外部ノウハウを活用した魅力向上策の刷新を図る

○奥久慈サイクルツーリズム事業【新規】	1,218万4千円
○古民家を活用した茨城ブランド向上事業【新規】	2,270万2千円
○官民連携事業（民間のノウハウを活用した戦略的プロモーション）【新規】	314万3千円
○観光物産館改修工事実施設計業務委託【新規】	355万3千円
○企業ガイド作成業務委託【新規】	55万円

■魅力あふれる住み良いまちを創造する

○新庁舎建設事業【拡充】	9億954万4千円
○都市再生整備計画作成支援業務委託【新規】	668万4千円

一般会計補正予算（第6号）の主なもの（専決処分）

歳入	補正額
寄附金	500万円
町債	820万円
歳出	補正額
災害救助費	320万4千円
し尿処理費	841万5千円
災害対策費	452万7千円

一般会計補正予算（第7号）の主なもの

歳入	補正額
寄附金	2,450万円
繰入金	△4億6,381万6千円
町債	△6億2,870万円
歳出	補正額
新庁舎建設事業費	△8億3,673万8千円
福祉作業所改修工事費	250万円
社会福祉総務費扶助費	△1,934万円
し尿処理費	△3,112万7千円
豚コレラ侵入防止緊急対策事業費補助金	△1,021万4千円
第74回国民体育大会推進費	△1,833万6千円
財政調整基金積立金元金（災害見舞寄附金分）	4,517万9千円

特別会計等の主な補正額

特別会計等	補 正 額	補正後の予算額
太子町国民健康保険事業特別会計	3,165 万 7 千円	23 億 1,564 万 9 千円
太子町後期高齢者医療特別会計	△ 1,389 万 8 千円	2 億 4,774 万 8 千円
太子町介護保険特別会計	△ 872 万 3 千円	26 億 5,607 万円
太子町介護サービス事業特別会計	△ 19 万 1 千円	937 万円
太子町浄化槽整備事業特別会計	145 万 1 千円	1 億 2,088 万 5 千円
太子町水道事業会計（収益的支出）	△ 825 万 8 千円	4 億 8,118 万 8 千円
〃 （資本的支出）	△ 2,918 万 9 千円	5 億 671 万円

問

太子町営研修センター
研修棟改修設計業務は

まちづくり課

答

長岡区避難路路面補修
工事はシーズン前にで
きるのか。
新年度、早めに対応す
る。

問

答

避難勧告等の発令対象
区域設定業務とは。
GIS（地理情報シス
テム）と航空写真を活
用し、危険区域の対象
を世帯単位で発令でき
るようにするもの。

問

総務課

「逐条審議」とは・・・

法律や条例などの箇条を一つひとつ取り上げて審議する方法とされています。
太子町議会では、町長から提出された議案一つひとつについて審議しています。
提出された条例や各事業について、主な質問を掲載しました。

答

商品販売形態の変更や
通路確保、売り場を拡
張し、現在の道の駅が
最大限の効果を発揮す
るようにする。

問

観光商工課

答

商店街空き店舗等家
賃とはどこか。
旧堀江歯科医院を利用
する。

問

答

どのような改修か。
新庁舎建設に併せ、未
整備教室の活用を検
討し改修する。

答

撤去予定の松沼集会所
跡地や同地域の町有地
を活用する。

問

答

床板の張り替えを行
う。また、強固なプラ
ウッドの使用や足場設
置、既存デッキの解体
撤去費用が発生するた
めである。

問

袋田観瀑施設第2観瀑
台デッキ改修工事はど
のように改修するの
か。また、その材質と
工事費が割高の理由
は。

第1回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第2号	大子町レンタサイクル条例	原案可決
議案第3号	大子町行政連絡員設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	大子町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	大子町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	大子町営住宅及び特定町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	大子町地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町地域振興基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第11号	消防ポンプ自動車の取得について	原案可決
議案第12号	し尿収集車の取得について	原案可決
議案第13号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第14号	町道路線の認定について	原案可決
議案第15号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第16号	大子町文化福祉会館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第17号	奥久慈茶の里公園の指定管理者の指定について	原案可決
議案第18号	大子おやき学校の指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	大子町営研修センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第21号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第22号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第23号	令和元年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第24号	令和元年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第25号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第26号	令和元年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第27号	令和元年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第28号	令和元年度大子町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第29号	令和2年度大子町一般会計予算	原案可決

議案番号	議 案 名	結 果
議案第30号	令和2年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	令和2年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和2年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和2年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和2年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和2年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議員提出 議案第1号	大子町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出（総務委員会）	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出（文教厚生委員会）	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議 案 名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 真人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
29号	令和2年度大子町一般会計予算	12	2	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	×	○	○	○	○
30号	令和2年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
31号	令和2年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
32号	令和2年度大子町介護保険特別会計予算	13	1	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対、△＝欠席 -＝議長（大森勝夫議員）は採決に加わりません。

可決された
主な議案の内容は

大子町レンタサイクル条例

【制定の理由】

町民及び町内への来訪者にレンタサイクルを貸し出すことにより、サイクリングを通じた地域間交流の促進及びレクリエーションの振興を図るため、条例を制定するものです。

【制定の主な概要】

1 貸出し及び返却施設
道の駅奥久慈だいがレン
タサイクルステーション

2 対象者

小学生以上（中学生以下
は保護者同伴）

3 使用料（一日につき）
・電動アシスト付自転車

3千円

・ロードバイク

2千円

・クロスバイク

2千円

・キッズバイク

1千円

町道の認定・廃止

◆認定

町道1334号線

起点 大字中郷字和田

1146番6

終点 大字中郷字松平

1108番

△認定理由▽

平成23年に整備された農道を町道として管理するために認定するものです。

◆廃止

町道4015号線

起点 大字外大野字竹ノ

内285・294

番

終点 大字外大野字竹ノ

内285・294

番

△廃止理由▽

私有地の中に個人が整備した道路であり、現在は公共性が低いことから、認定を廃止するものです。

指定管理者が指定されました。

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者に指定する団体	指定する期間
(1)所在地 大字町大字大字 722 番地 1 (2)名 称 大字町文化福社会館	(1)所在地 大字町大字大字 722 番地 1 (2)名 称 社会福祉法人大字町社会福祉協議会 (3)代表者 会長 高梨 哲彦	R2.4.1 ~ R7.3.31
(1)所在地 大字町大字左貫 1920 番地 (2)名 称 奥久慈茶の里公園	(1)所在地 大字町大字左貫 1920 番地 (2)名 称 茶の里公園組合 (3)代表者 理事長 菊池 富雄	R2.4.1 ~ R4.3.31
(1)所在地 大字町大字槇野地 2469 番地 (2)名 称 大字おやき学校	(1)所在地 大字町大字槇野地 2469 番地 (2)名 称 大字おやき学校組合 (3)代表者 組合長 高梨 哲彦	R2.4.1 ~ R4.3.31
(1)所在地 大字町大字北田気 662 番地 (2)名 称 大字町営研修センター	(1)所在地 大字町大字池田 2830 番地 1 (2)名 称 一般社団法人大字町振興公社 (3)代表者 理事長 高梨 哲彦	R2.4.1 ~ R3.3.31

大字町固定資産評価審査委員会委員に

石井良二氏を再任

大字町固定資産評価審査委員会委員の石井良二氏が令和2年3月28日で任期満了となるため、引き続き同氏を選任することに同意しました。任期は令和5年3月28日までです。

人権擁護委員候補者に

鈴木翼氏を推薦

人権擁護委員の野内友明氏が令和2年6月30日で任期満了となるため、後任に鈴木翼^{つよし}氏を推薦することに同意しました。任期は令和2年7月1日から令和5年6月30日までです。

人権擁護委員候補者に

菊池明正氏を推薦

人権擁護委員の菊池明正氏が令和2年6月30日で任期満了となるため、引き続き同氏を候補者として推薦することに同意しました。任期は令和5年6月30日までです。

議会委員会構成等が変わりました

大字町議会委員会条例の一部を改正する条例

【改正の理由】

大字町議会議員定数条例により令和2年3月31日から適用される議員定数の減により、各常任委員会の名称、委員定数、及びその所管の見直しに伴い、委員会条例の一部を改正するものです。

【改正の主な概要】

改正前

総務委員会

5人

産業建設委員会

5人

文教厚生委員会

5人

改正後

総務経済委員会

7人

文教厚生委員会

6人

予算・決算委員会

12人

(議長を除く全議員)

令和2年第1回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

9人の議員が一般質問!!

質 問 内 容	ページ	質 問 者
農林業の振興を	P.11	鈴木 陸郎 議員
専任の防災担当職の配置を 新庁舎における防災体制は 町に特色を活かした観光振興を	P.12	藤田 稔 議員
地域包括支援センターの増強は 河道掘削や堤防のかさ上げ工事の計画は	P.13	野内 健一 議員
台風19号被災事業者への町の支援は 新年度の予算内容と編成方針は リバーサイド奥久慈福寿荘の今後は	P.14	菊池 富也 議員
住民避難保険について 職員の倫理条例について	P.15	岡田 敏克 議員
台風被害に対し積極的な支援を 水道事業について	P.16	金澤 真人 議員
新庁舎の建設について 大子駅前開発について	P.17	吉成 好信 議員
新庁舎建設総事業費について 台風19号の復興の状況は 東海第二原発の再稼働について	P.18	佐藤 正弘 議員
防災リーダーとして防災士養成を 森林の温泉の魅力度向上策は	P.19	菊池 靖一 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等をたずねることです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで「議会中継」を見ませんか！

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継をクリック



スマートフォンから



問 農林業の振興を

答 要望等を検討し支援したい



鈴木陸郎 議員

想される。

【鈴木】法人、認定農業者の増加について、政策目標はあるのか。

【農林課長】認定農業者については増加を検討している。

【鈴木】儲かる農業とは何か。

【農林課長】町で推奨しているブランド品の向上を考えている。

【鈴木】儲かる農業に繁殖和牛がある。県では新年度予算として40万円を上限に補助をする。町の対応策は。

【農林課長】補助金交付については、今後の調整が必要だが、推進したい。

【鈴木】常陸牛はブランド化が先行し、生産が伴っていない。町、職員の対策強化を図るべきと思うがどうか。

【町長】畜産関係者で検討していたとき、町が支援すると考えている。

【鈴木】課題解決のため7項目の要望書を提出すると聞いているが考えは。

【町長】要望の提出を待つて検討、判断したい。

【鈴木】林

業の現状について、間伐期、皆伐地、未植栽地面積と生産林業従事数について伺う。

【農林課長】間伐期

2万235ha、皆伐地140ha、未植栽地97haである。



常陸牛の生産強化対策が望まれる



林業従事者の確保を

伐採搬出101名、造林36名である。

【鈴木】伐採、搬出は機械化されているが、造林作業は手作業である。町の考えは。

【農林課長】現在の従事者数では難しいと考える。

【鈴木】人材確保として、清流高校農林科学科と連携すべきと思うが。

【町長】森林整備担い手育成事業を提案している。

【鈴木】かつて学校林があ

り森林環境について勉強したこともあったが、「木育」の推進についての考えを伺う。

【教育長】木育教育は、幼稚園をはじめスタートしたところだが、清流高校農林科学科と情報交換し進めたいと考えている。

【鈴木】今後のまちづくりについて伺う。

【町長】地場産業の振興、新規事業の企画、立案に取り組みたい。

問 専任の防災担当職の配置を

答 総務課内に配置する方向で



藤田 稔 議員

る。

【藤田】防災倉庫の各学校への設置、防災備蓄品の整備について伺う。

【総務課長】小・中学校の体育館を含めて倉庫の移設新設、また、空き教室等の活用を検討している。未整備の生活必需品の確保を優先に考え、災害協定の中での調達も考えて行きたい。

【藤田】大子町地域防災計画の見直しはされているか。

【総務課長】今年度改定作業を進めている。

【藤田】専任の防災担当の配置について再度伺う。

【総務課長】総務課内に専任の防災担当を配置する方向で進めている。



早期の見直しを進めるべきである



新庁舎における防災体制は

【藤田】新庁舎の建設位置について伺う。

【町長】旧東京理科大学大子研修センターグラウンドのどの位置にするかは、検討した結果を示したい。

【藤田】築40年経過している消防庁舎建設も考えて検討できないか。

【町長】役場庁舎と消防庁舎の隣接で、連携強化や集約化、複合化が図られ町民の利便性が高まるメリットがある反面、代替庁舎の在り方等の検討も必要であり、現時点においては同じ敷地内に消防庁舎を設置することは考えていない。

【藤田】東日本大震災時は、消防庁舎の自家発電で、災害対策本部が設置され対応ができた。将来の消防庁舎建設の考えを伺う。

【町長】老朽化が進んでいることについては認識している。台風19号の復旧状況を見定めて検討したい。

【藤田】庁舎内への井戸設置整備について伺う。

【総務課長】庁舎自体に1万5,000リットルの受水槽を設置する。建設予定地の地質調査を進めて、状況を踏まえて検討する。

【藤田】各学校での飲食物品等の管理等について協力をお願い出来るか。

【教育長】各学校長、職員に、共通理解させて実行して行

きたいと考えている。

【藤田】新庁舎に、災害時に自家発電設備と連動した茨城県石油商業組合大子支部と協定した自家用給油取扱所設置について伺う。

【総務課長】72時間対応の非常用発電機を設置する。大子支部とは、災害時の燃料給油は優先的に協力してもらえ、維持管理等を含めて検討していきたい。

町に特色を活かした観光振興を

【藤田】アクアワールド県大洗水族館と包括連携協定を締結をした。袋田の滝観瀑施設やひたかな海浜公園等との共通チケット販売や恋人の聖地との連携等新たな観光振興の考えを伺う。

【町長】共通チケット等は双方にとって誘客機会の拡大に結びつく。協議をしながらお互いがプラスとなる仕組みづくりを考えたい。

問 地域包括支援センターの増強は

答 人員増加についてはゼロベース



野内健一 議員

町においては、ダブルケア調査はしていない。

【野内】ダブルケアの背景としては、少子高齢化が進む中で、共働き世帯が増えるとともに、出産年齢の高齢化や兄弟姉妹数の減少・地域コミュニティの希薄などが幾重にも重なっている要因があり、親の介護と子育ての両立が大変難しい環境が存在している。このような状況の中、ダブルケア当事者への負担軽減策について何か考えは。

【福祉課長】まずは当事者の方からご相談をいただいで、福祉課、健康増進課、教育委員会も関係する支援策を案内する予定である。内容としては、一時保育、病児・病後児保育、放課後子ども教室、児童クラブ等がある。

【野内】子育て支援の相談と介護の相談を一元化することが必要と考えるが、町は地域包括支援センターの増強を含めた考えは。

【町長】福祉課が一度窓口になって、教育委員会とも連携をし、回答ができる仕組みを、内部職員の教育と意識づけで作り上げていくのは、私の責務であると思っている。

河道掘削や堤防のかさ上げ工事の計画は

【野内】台風19号の水害により、JR水郡線常陸大子駅と袋田駅間の鉄橋が崩落し、鉄道がストップしている状況である。今後の事を考えると、河川の大規模な修復が必要と考えるが、堤防の整備などを含めた改善策は、どの程度まで実現されるのか。

【町長】国土交通省の河川関係だが、通常の要望プラス今回は災害に関する要望をしている。国土交通省関東地方整備局から大子町へ視察に来ており、久慈川、押川の越水に関する被害は中央省庁に届いていると思っている。

今後5年間で河道掘削や堤防のかさ上げ、現状復旧に関わらず、場所によっては改良復旧によって、しっかりとした防御策を講じていく話をいただいている。



JR 水郡線鉄橋の再建工事(来年7月にトラス橋として完成)

問 台風19号被災事業者への町の支援は

答 国や県の補助体制を見てから検討



菊池富也 議員

で、町は追加の支援策を考えていない。

【菊池】 廃業した事業者や廃業を考えている事業者が何人もいる現状である。町は積極的に支援すべきでは。

【町長】 国や県の補助体制の推移を見て考える。

【菊池】 災害見舞寄付金やふるさと応援寄附金等を事業者にも配分できないか。

【財政課長】 見舞金や寄附金については、災害に関する事業に使用し、残りは基金に積み立てる予定で、活用先は決めている。

新年度の予算内容と編成方針は

【菊池】 新庁舎建設に関する見込額が4年で27億円になっている。選挙公約のコ

スト削減とはかけ離れた金額であり、床面積の縮小やエレベーターの削減等多くの改善を提案したにも関わらず、当初の20億から7億も増えたのはなぜか。

【町長】 移転先の変更により建設費等は増加するが、今後コストダウンを考える。

【菊池】 コストダウンはもちろんのこと、使いやすい、利用しやすい庁舎を建設すべきである。新年度予算中のA一乗合タクシーの実証実験事業においては、大子町での必要性、利便性に疑問がある。現状と課題を伺う。

【まちづくり課長】 スマートフォンやパソコンを必要とするが、持っていない町民は、まちづくり課に連絡をすれば、職員が予約などの対応をする。全国では10

件程度が実証実験をしている。水戸市は、偕楽園の観光客のための市内周遊の実験を始めている。

【菊池】 大子町は広大な面積のため、高額な導入経費が必要となり、また一部の地域の導入は、町の高齢者のためになるとは思えない。町営バスの利便性の向上や乗合タクシーの活用で対応できるのに、なぜ必要か。

【町長】 時代の転換期であり、全国に先駆けての実証実験に意義がある。

【菊池】 今度の災害復旧対策において、民間応急仮設住宅事業は2年間の家賃補助をするが、民間賃貸住宅家賃補助事業は6か月分のみとなっている。同じ期間、補助できないか。

【町長】 応急修理等が間に合わない状態が確認されれば、延長する方向で考える。

リバーサイド奥久慈福寿荘の今後は

【菊池】 12月の定例議会で

管理者が決まっていないとのことだったので、再度の募集を要望したが、経過は。【観光商工課長】 再募集に向けた準備をしている。

【菊池】 町長の公約の中に企業誘致、働く場所の確保がある。職員の働く場所の確保や観光の面からも早急に対策を講ずるべきでは。

【町長】 管理者募集要項の緩和について協議している。また、現在の職員については、当該法人の職員であるから、町は介入を控える。



どうなるの？福寿荘

問 住民避難保険について

答 来年度の当初予算に計上



岡田敏克 議員

ているのか。

【総務課長】 新年度の当初予算に計上し、その範囲で承知している。

【岡田】 保険は市町村が加入できるもので、避難所設置、住民に配る食料品、職員の残業代（消防団等の出勤手当）も対象になる保険でカバーすることができ

る。当初は風水害の補償だった

が、地震、津波、噴火に関する避難も対象となった。この保険は、災害発生時の住民の対応、格差を生

じさせない手段として

注目を浴びている保険でもある。

昨年の9月まで125市町村から約350



災害発生時の保険適用にも①



に。全国1718市町村のうち2割に急増している。大子町でも保険に入っているのか。

【総務課長】 加入していないが、今回の災害を踏まえて来年度の加入を計画して予算計上している。

【岡田】 今回の避難について、どのくらい費用がかかったのか。

【総務課長】 各種費用見込みで累計1億1千万円くらい。今後、全額でなく補助という形での対応が進むと

思っている。



災害発生時の保険適用にも②

職員の倫理条例について

【岡田】 職員の倫理条例について、昨年県内の某市長が職員と3人で、2016年に京都市で利害関係者と会食が発端となり住民から問題視され、職員倫理条例が制定された。職員の職務執行で疑惑や不信を招く行為を防止するのが狙いで、県内では9市町村が内部規定を設けている。規則として、利害関係者からの贈与等の禁止を盛り込み、各職

場で職員に指導、相談をし努めている。県内では条例を制定している自治体が非常に少ない。大子町ではどうしているのか。

【総務課長】 町では条例の制定はないが、地方公務員法、就業規則・規定等を基本に運用。年間を通じて町長の訓示、庁内メール、式や会議の時に綱紀粛正についての周知徹底を図っている。

【岡田】 地方公務員法等遵守、適用。それをまとめて規程を作るとは考えてないのか。

【総務課長】 県も服務規程等で対応の状態である。公務員、町職員として時間内、時間外を問わず職員としての自覚を持って行動するよう、今後も周知していく対応を続けたい。

【岡田】 該当（問題発生）になった場合、町のどこへ連絡を。

【総務課長】 服務の部分なので総務課の方に情報をいただきたい。

問 台風被害に対し積極的な支援を

答 あらゆる手段で支援を周知する



金澤眞人 議員

【財政課長】

建物備品などは保険の対象になる。水害は共済額の50%が上限。現在原形復旧の費用の見積もりをしている。

【総務課長】

公用車は21台合計で共済金1755万円となっている。

【金澤】

書類、パソコン、公用車などが水没の被害にあったが、反省点と今後の改善策を伺う。

【総務課長】

生活環境課と農林課は中央公民館敷地内など高台移転している。公用車は避難先を旧東京理科大に変更した。

【金澤】

水没してしまった衛生センターの復旧はどうなっているか伺う。又建設費用の概算は。

【町長】

敷地をかさ上げしての災害復旧を県や国へ要望して協議中である。建設

費用は概算で35億円を想定している。半分は国庫補助、残りは地方債を充当する。

【金澤】

今後
の大雨による
久慈川の洪水
対策や支流の
防災対策を伺
う。

【建設課長】

県の河川改修事業と国による代行事業として河道の掘削、堤防のかさ上げ、築堤などが決定されている。支流については堆積土砂の撤去、河道の掘削などが行われる予定。



復興の槌音響く「袋田鉄橋の橋脚建設」

【金澤】 大雨による土砂崩れの危険性に対する対応は。

【総務課長】

砂防ダム、擁壁、のり面整備を県に要望している。又避難発令対象区域を細分化する設定業務を予算計上した。同時に避難行

動などの意識の徹底を図っていききたい。

水道事業について

【金澤】

池田地区の住宅が急激に増加しているが、水道水の供給の対応を伺う。

【水道課長】

配水池を新設し、容量を3倍以上に、また、従来よりも高い場所に作り水圧も確保し、今後の水需要に対応する。

【金澤】

大子町は急激な人口減少の状況にあるが、水道事業の今後の収支予想は。

【水道課長】

人口の減少で将来予想はかなり厳しい、電気の購入単価を下げたり企業債の借入れ変更等で利息の低減を図ったり、口座振替による集金業務の削減など、経費削減を図っている。

○その他の質問

・山間地の農業について

問 新庁舎の建設について

答 中心市街地への分庁舎機能も検討



吉成好信 議員

【吉成】 新庁舎の建設予定地は昨年10月12日の台風19号により被災してしまい再検討した結果、旧大子二高のグラウンドという方向付けがされたが、特にアクセス問題があり、シャトルバスを走らせれば良いという訳にはいかない。印鑑証明や住民票、戸籍抄本や税の一部が取り扱われるような分庁舎があれば良いと考えるが町の考えは。

【副町長】 議員からの指摘もありました新庁舎建設予

定地は、浸水等の影響を受けない高台に位置するところとなった。中心市街地からの位置からいうと、アクセスが課題であることで検討を進めている。また、議員から提案があった中心市街地への分庁舎機能、行政手続きがそこでできるような機能の設置については、町民の利便性の確保や中心市街地の活性化という側面もあり、多面的な方向から必要性も感じている。現庁舎の移転跡地の活用も含めて今後検討していきたい。新庁舎の建設と並行して検討を進めていき、具体的な内容が固まり次第お示ししたい。

大子駅前開発について

【吉成】 大子駅前が空き家

になっている。大信商店、隣の商店も空き家になっていることで町でも考えたことはあると思うが、駅前はその顔でもあるので交渉して借りるか買い上げるなりして町として利用してみてはどうか。

【まちづくり課長】 来年度の新たな取り組みとして、

町が空き店舗を借り上げ活用する事業の予算を新年度当初予算に計上した。具体的には、駅前の大信商店、本町通りの空き店舗を町が借り上げて、新たな店舗として再生し活用する取り組みである。この取り組みでは、空き店舗問題を解決するのみではなく、商店街の賑わい創出を図ることを目的としている。町のお土産を販売する店舗、期間を限定したお試し店舗、いわゆる

るチャレンジショップとして活用することで、町民や観光客などさまざまな方が関われる場づくりを行っていく。

【吉成】 駅前の空き店舗の

所有者に話をしたことがあるのか。

【まちづくり課長】 町で活用できないか検討するにあたり、所有者へ確認や調査をさせていただいた。



利活用が望まれる大子駅前空き店舗

問 新庁舎建設総事業費について

答 着任当初と同様に削減の方向で進める



佐藤正弘 議員

のか。

【総務課長】 明確な答えは難しいが、バイパスとの接合等がうまくできればという考えは担当では持っている。

台風19号の復興の状況は

【佐藤】 今回の台風19号で587棟が被害を受けたと報告されている。国、県、町の制度を活用など、どこ

まで復旧しているのか。

【福祉課長】

【佐藤】 新聞報道によれば、総事業費が26億と報道されている。公約に掲げた建設費の削減になっていないのではないか。

【町長】 私の説明不足だったかもしれないが、当初の26億という数字に戻った報道になっている。着任当初と同様に本体工事において削減の方向で進める。

【佐藤】 現在、北田気バイパスの工事が進められているが、バイパスからの直接のアクセスは考えられない



2020/03/30

進む北田気バイパス工事、新庁舎へのアクセスは可能か

被災の程度に応じて支給される基礎支援助金と住宅の再建方法に応じて支給される加算支援金の二種類がある。基礎支援助金の額は、全壊世帯が100万円、大規模半壊世帯が50万円、

加算支援金の額は、住宅再建は200万円、補修の場合は100万円、公営住宅を除く賃貸借の場合は50万円となっている。半壊世帯の救済措置として25万円を支給する町独自の制度がある。それぞれ支援金の支給が進んでいる。

【建設課長】 国の災害救助法の応急修理制度を199件が申請し、2月11日時点で152件、76%の方の工事が完了している。応急修理の対象外の個人負担の経費について、住宅リフォーム助成制度の併用を可能とし、74件の申請を受け36件、48%の工事が完了している。

【佐藤】 仮設住宅に入居すると国の応急修理制度が適用されない。制度自体に問題がある。国、県に被災地の声を上げていく必要があるのではないのか。

【町長】 制度そのものが良いか悪いかというのは、国の制度であり、我々がコメントする立場ではない。

東海第二原発の再稼働について

【佐藤】 昨年、3月の議会で東海第二原発の再稼働に関し、町長は町民の声を聞き、周辺自治体とも連携し判断していくと答弁している。再稼働に反対する意思を明らかにすべきではないのか。

【町長】 町民の意見を聞きながら、最終的な判断をすべきという考えに変わりはない。県主催の住民説明会、日本原電主催の状況説明会が開催されている。東海第二原発周辺6市村の首長とも連携を取りながら、動向を見て判断していく。

【佐藤】 町民の声を聞くと答弁している。第三者的な立場でなく、自分が主催し町民の声を聞くのが当然だと思うが、どうか。

【町長】 聞き方には、さまざまある。私の判断で町民の声を聞き、周辺6市村の動向を見て判断する。

問 防災リーダーとして防災士養成を

答 関心を持っているので検討する



菊池靖一 議員

との情報共有や連携、防災訓練などへの消防職員の派遣などを通じて、広く住民の防災意識の高揚と地域防災を担う人材の育成を図っていきたい。

【菊池】災害時の自主防災組織間の連携についてはどうか。

【町長】今回の災害を踏まえたうえで、来年度の計画に基づき、素案をつくり示すことができればと考えている。

【総務課長】その方法論としては、町内で64ある自主防災組織全体での意見交換が行われていないのが現実なので、組織間の意見交換会を実施することは、そのステップになると考えている。

【菊池】阪神・淡路大震災をきっかけに平成15年に防

災士制度が発足した。最近、自然災害が頻発していることから、防災リーダーとして防災士の養成に自治体も力を入れているが町の考えは。

【総務課長】地域防災力の向上につながることから、自治体が積極的に関与する事例が多くみられる。町も防災士の養成に関して関心を持っている。大田原市では、市独自の養成講座を開催しているという情報もある。八溝山周辺定住の事業にできないか、また、町独自の受講料の補助がでないかなどについても検討していきたい。

森林の温泉の魅力度向上策は

【菊池】森林の温泉の魅力

度向上策を検討するため2年間で700万円もかけるが、もたもたしているところ、赤字額がどんどん増えていく。外部の知恵を借りるだけでなく内部で話し合いはないのか。

【町長】振興公社が管理し

ているが、あまりにも赤字額が大きいようでは行政がやるにしてもバランスが悪いということ。来年度からは、民間企業と同じように目標をもつてやるように指示をしている。



魅力度向上策が待たれる森林の温泉

— 大子っ子の夢、応援しています！ —

わくわく わたしの夢



私の将来の夢は、音楽関係の仕事に就くことです。

自然豊かな大子町の魅力を多くの方に伝えていきたいと思っています。

私は、幼い頃から音楽を聴くことが大好きでした。音楽を聴くと、元気になれます。自分も将来、大好きな音楽で人を元気にすることが出来る人間になりたいと思っています。

また、音楽を通じて、



大子中3年
おおたか めぐみ さん
大高 夢来純さん
(大字下野宮)

FM放送の お知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。台風被害の影響により、現在録音放送（質問当日午後及び閉会後翌週夕方から一名ずつ）のみ行っています。是非お聴きください。

なお、放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

6月定例会 開催予定

▽3日（水）	開 会
▽4日（木）	～7日（日）
▽8日（月）	一般質問
▽9日（火）	一般質問
▽10日（水）	一般質問
▽11日（木）	逐条審議
▽12日（金）	逐条審議
	閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会

広報委員会

委員長 須藤 明
副委員長 佐藤 正弘
委員 菊池 富也
委員 菊池 靖一
委員 大森 勝夫
委員 中郡 一彦

(改選前の委員で編集しました)

あとがき

昨年、10月の台風19号は、大子町に未曾有の被害を与えました。被災された皆さんに改めてお見舞い申し上げます。今、災害の復旧・復興の最中であります。この4年間、議会基本条例を柱に町民との結びつき、議員、議会の力量を高めるための取り組みなどを追求してまいりました。

そういう中、議員選挙が行われ、新しい町議会議員が誕生しました。

一つひとつの施策が、町民の利益に結びつくのか判断する重要な任務を負っています。

少子・高齢化、産業の振興など、多くの課題を抱え、新議員の力量が試される、今ほど町民の関心が高い時はありません。町民の期待に応える議会への努力を傾注することを望みます。

(佐藤 正弘)